気管カニューレ内吸引

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | （　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施内容 | 気管カニューレ内吸引 | |
| 実施手順 | | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。  吸引器　吸引用水　吸引用カテーテル　アルコール綿（消毒綿）　消毒液  ディスポの手袋　聴診器　速効性手指消毒剤 | |
| 準　備 | 1. 分泌物が貯留している位置を確認する。 2. 環境整備（物品を適切な位置に準備）、吸引する体位を整える。 3. 石けんを使用して手を洗う。または、速乾性   手指消毒剤を使用する。   1. ディスポの手袋を装着し、速効性手指消毒剤を適量擦り込む。 | ・ゴロゴロ音の聴取や胸部や  　背部に手を当てて痰のある  位置を確認する。 |
| 実　施 | 1. 人工鼻を外し、不潔にならないよう保管する。 2. 吸引用カテーテルを清潔に取り出し、吸引器のチューブに接続する。 3. 吸引器の電源を入れ、吸引圧が（　）Kpaであることを確認し、吸引用水を吸引してカテーテル内の消毒液を洗い流す。 4. 吸引用カテーテルの根元を折り曲げ、吸引圧がかからない状態で気管カニューレ内に、適切な位置まで挿入する。   カテーテルの挿入する長さは、先端から（　）  cm（カテーテルの目盛り（　）まで。1回の  吸引は10秒以内にできるだけ短時間で行う。   1. 吸引用カテーテルの折り曲げた部分を伸ばし、カテーテルをゆっくり回しながら引き上げ、分泌物を吸引する。 2. 吸引後、カテーテルに付着した分泌物をアルコール綿（消毒綿）で拭き取り、吸引用水を吸引してカテーテル内部の分泌物を流す。 | ・必要に応じて手順①～⑩を  　繰り返す。  ・吸引器の充電は確実に行  う。  ・電池の消耗を防止するた  め、できるだけアダプター  を使用する。  ・吸引中は呼吸状態や顔色、  口唇色、Sp０₂値（酸素飽和  度）を観察しながら実施す  る。  ・吸引ビンは、半分を目安に  　内容物を破棄する。  ・吸引のタイミングについて  　は、日ごろから保護者、医師  　看護師と確認しておくこ  と。 |
| 終　了 | 1. 吸引終了後、消毒液を吸引して清潔な状態にした上で、吸引用カテーテル保存容器に入れる。 |  |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
| 気管カニューレが事故抜去した場合 | 看護師、保護者に連絡する。 | 気管切開部を伸展させて救急車搬送する。 |
|  |  |  |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者 | （母）  （父） | －　　　　－  　　　－　　　　－ |
| 主治医 | 病院（小児科） | －　　　　－ |
| 救急搬送 |  | |
| その他 |  | |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）